

【Approach】2

キャンパス整備

Campuses

二大キャンパス体制の形成

多摩キャンパスと都心キャンパスのそれぞれの魅力を明確化させ、多摩キャンパスは緑豊かで施設設備の整ったグローバルキャンパスを目指し、都心キャンパスは後樂園キャンパスを中心として先進的な教育研究とプロフェッショナル養成に注力したキャンパスを目指してまいります。



多摩キャンパス<東京都八王子市>



グローバル館（仮称）・国際教育寮（仮称） 外観イメージ

① 多摩キャンパス

グローバル館（仮称）・国際教育寮（仮称）<2020年4月供用開始予定>と学部共通棟（仮称）<2021年4月供用開始予定>の建設を予定しています。



■ グローバル館（仮称）・国際教育寮（仮称）

<2020年4月供用開始予定（新築）>

グローバル化を推進する上で、より多くの外国人留学生や研究者を受け入れるために必要な教育内容の提供とともに、生活面でのサポート体制として、キャンパス内に国際系施設『グローバル館（仮称）・国際教育寮（仮称）』を整備します。グローバルな教育研究が可能となる施設設備を整えたグローバル館（仮称）とオンキャンパスで教育と生活が融合する国際教育寮にて、在學生と留學生が教育や生活を通じて、互いの文化や習慣などを学び、理解し、国際通用性を身に付ける教育施設となります。

■ 学部共通棟（仮称）

<2021年4月供用開始予定（新築）>

従来の1学部1棟の利用ではなく、学部横断的な教育研究施設として、『学部共通棟（仮称）』を整備します。多摩の豊かな自然を活かした「森のキャンパス」の入口として、またダイバーシティ・グローバルゾーンの中核となる施設として位置付けます。これにより、在學生のラーニング拠点・交流拠点として、また、あらゆる『知』が集合・発信される空間として、今までにない多摩キャンパスの新たな教育施設となります。

② 都心キャンパス

2018年8月25日理事会において、2023年度から後楽園キャンパスを中心とした文京区および駿河台記念館に法学部と法科大学院を有機的に配置することを決定いたしました。

なお、2019年4月、国際情報学部を開設（入学定員150名）することに伴い、現在、市ヶ谷田町キャンパスを改修中です。

■ 市ヶ谷田町キャンパス

<2019年4月供用開始（改修中）>

2019年4月、国際情報学部（入学定員150名）を市ヶ谷田町キャンパスにて開設します。「情報の仕組み」と「情報の法学」が融合する学術交流を発展させ、さらに産官学へと接続し、情報の未来を描き語り合う拠点となるよう、多様な学びの場の提供を行い、IT・IoTの積極的な導入による利便性の向上を図るなどの整備を行います。これにより「Link」を生み出すビルディング型スマートキャンパスとして生まれ変わります。

<改修後のイメージ図>



市ヶ谷田町キャンパス<東京都新宿区>